

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 7. 19

下水道機構の『新技術情報』 第243号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

九州から東海まで梅雨明けをしたもようです。

今年の梅雨明けは「前線消滅型」というパターンのように、梅雨明けをしてからも天気がぐずつくのが特徴だそうです。

日本の南側にある高気圧が強くなく、オホーツク海側の空気が暖まると前線が不明瞭になることから、このような呼び方をします。

梅雨明け後は晴天が10日安定して続くという「梅雨明け10日」という言葉がありますが、それは「北上型」という南側の高気圧が前線を押し上げるパターンの梅雨明けをした時だそうです。とはいえ、お天気がぐずついていても水分・塩分補給に気を付けるなど熱中症の対策は万全に！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第243号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・行こうよ！下水道展‘16名古屋！
- ・下水道展‘16名古屋にて審査証明技術のプレゼンを行います！
- ・人事異動がありました

■機構の動き

- ・今週は、7/20(水)に第5審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・うなぎ（企画部 のぶりんさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・本日のゆいまーるは、お休みします

■国からの情報

- ・7/15付下水道ホットインフォメーション

。○○。
インフォメーション（最新の話です）

。○○。

●行こうよ！下水道展'16名古屋！

7/26（火）～29（金）までの4日間、日本発！暮らしを支える底力「下水道展'16名古屋」がポートメッセなごやで開催されます。本機構は、第3展示館（小間番号3-721）で出展いたします。

出展情報の詳細はこちら

→

<http://www.jiwet.or.jp/publicity/%E8%A1%8C%E3%81%93%E3%81%86%E3%82%88%EF%BC%81%E4%B8%8B%E6%B0%B4%E9%81%93%E5%B1%9516%E5%90%8D%E5%8F%A4%E5%B1%8B>

●下水道展'16名古屋にて審査証明技術のプレゼンを行います！

下水道機構では、審査証明技術の普及促進を目的として、審査証明事業の概要説明と新たに審査証明を取得した技術のプレゼンテーションを行います。新規技術の紹介は、審査証明を取得した企業の方が直接分かりやすく解説いたします。聴講は無料となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日時：[一日目] 平成28年7月26日（火） 13時40分から14時45分

[二日目] 平成28年7月27日（水） 12時40分から14時05分

※発表会場：ポートメッセなごや イベント館2F 第2会議室（会場へのアクセス等は以下のプログラムでご案内しております）

内容：建設技術審査証明事業と平成27年度新規技術の紹介

プログラムはこちら→

<http://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2016/07/7e2a41852c1ba573af4ac5994db35160.pdf>

●人事異動がありました

★5/1付

【転入】※（ ）内は、前職

研究第二部 研究員 玉江祥和((株)建設技術研究所)

★6/30付

【転出】（ ）内は、転出先

研究第二部 主任研究員 中村誠((株)東京設計事務所)

★7/1付

【転入】※（ ）内は、前職

研究第二部 研究員 荒木隆夫((株)東京設計事務所)

。○○。
機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●平成 28 年 7 月 20 日(水) 13:30~17:20

行 事 : 平成 28 年度第 1 回第 5 審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : 平成 28 年度 建設技術審査証明(下水道技術)の各依頼技術の審議

○日 時 : 平成 28 年 8 月 19 日(金) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事 : 第 64 回下水道新技術セミナー【東京会場】

場 所 : 東京都港区 発明会館

テーマ : 「新たな内水浸水対策の取り組み」

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

○日 時 : 平成 28 年 8 月 26 日(金) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事 : 第 64 回下水道新技術セミナー【大阪会場】

場 所 : 大阪市西区 大阪科学技術センター

テーマ : 「新たな内水浸水対策の取り組み」

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●うなぎ(企画部 のぶりんさんからの投稿です)

今年の土用の丑の日は、7 月 30 日土曜日です。

土用とは、四立(立春、立夏、立秋、立冬)の前の約 18 日間)を言います。

その中で、十二支で数えたときの「丑」にあたる日が「土用の丑の日」です。

土用の 18 日間のあいだに 12 日周期で数えると 2 回「丑」が出てくる事があります。

これが年に 2 回、土用の丑の日がある理由です。

しかし、土用の丑の日は夏の時期しか意味していません。これは、旬ではない夏に鰻を売ろうと平賀源内が発案したのが「夏の土用の丑の日」だったからだそうです。

「丑の日に『う』の字が付く物を食べると夏負けしない」という風習も相まって、夏にも鰻が食べられるようになった。と言われてます。

うなぎと言えば、浦和の蒲焼です。江戸・宝永時代から浦和宿で捕れたうなぎが旅人に好評だったのが始まりだとか。その他様々な書籍に浦和とうなぎの記述が見られます。

去年 11 月から失踪している別所沼公園の「浦和うなこちゃん」が、土用の丑の日に復活する事がきました。故やなせたかし氏がデザインしたとてもプリティな石像です。

(ちなみに、浦和駅西口正面にいた浦和うなこちゃんは伊勢丹前に移動しています。さらに、浦和うなこちゃんは 20 人いました。※1 人失踪中)

ニホンウナギは、2014 年 6 月 12 日に国際自然保護連合が定める「絶滅危惧種 I B 類」に

掲載されました。これは、「近い将来に絶滅の危険性の高い種」のレベルの物です。
ちまたでは、ウナギ味のナマズが出現し話題になっていますが、さらに注目すべきは、
2010年に国立研究開発法人 水産総合研究センター（現：国立研究開発法人 水産研究・
教育機構）にてウナギの完全養殖を達成したことです。

「日本のうなぎを育てる会」という有志団体がウナギの完全養殖の実用化に向けて募金
活動等をおこなっています。興味がある方は調べてみてください。

平賀源内によって夏の風物詩になったウナギに1年の1日くらいは鰻に思いを馳せつ
つ、美味しくいただいてみてはいかがでしょう？
名所はないけど、浦和に鰻でも食べに行こうよ！

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○○。

●本日のゆいまーるは、お休みします

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→

| \★/ | jiwet@jiwet.or.jp |

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション（2016.7.15 付 国からの最新情報です）
送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和
=====

昨日の大都市の会議で広島市の方からお聞きしましたが、広島東洋カープに下水流
（しもずる）という選手がいて活躍しているということです。
そこで、下水流選手と下水道、何かインパクトのあることができないか、考えている
そうです。

報道等にもありましたが、景気を下支えする経済対策が動き出しました。
地方公共団体に対しましては、改めて調書をお願いしましたが、積み増していただき

たいという意味ではありませんので、あまり大きな期待はされないよう、お願いいたします。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○決定！！第4回（平成28度）GKP広報大賞（GKP）

○「でらうま BISTRO 下水道」開催します！（BISTRO 下水道推進戦略チーム）

○第14回 リン資源リサイクルシンポジウム開催概要（リン資源リサイクル推進協議会）

=====

○決定！！第4回（平成28度）GKP広報大賞（GKP）

第4回（平成28度）GKP広報大賞の表彰事例が決まりました。

全国からエントリーされた20事例について、会員投票ならびに

審査委員会における厳正な審査を行い、下記の通り決定しました。

受賞事例は下水道展'16名古屋（ポートメッセなごや）で7月27日（水）14時より表彰し、グランプリと準グランプリには記念の盾と賞状を、その他事例には賞状を贈呈します。

詳細は、

<http://www.gk-p.jp/>

をご参照ください。

【グランプリ】

・うち大研究！下水道ワークショップ ～うちはどこからやってきて、どこへ行くの？～

（国土交通省水管理・国土保全局下水道部）

【準グランプリ】

・「テレビ番組を活用したマンホール蓋の魅力紹介」（日之出水道機器株式会社）

【部門賞】

◇報道部門

・下水処理水再利用による飼料用米栽培に関する研究（山形大学農学部食料生命環境学科）

◇広報部門・行政広報部門賞

・下水道PRポスター「開けてみる？」の制作（千葉県柏市役所）

・マンホール蓋を活用した下水道広報活動（神戸市建設局）

◇広報部門・企業団体等広報部門賞

・立体地図 東京透視模型“みえ～る君”（学習用キット）（東京下水道設備協会）

◇広告部門賞

・電車ビジョン、ラジオ番組による水インフラのプレゼンス向上（メタウォーター株式会社）

◇電子媒体部門賞

・該当なし

【特別賞】

◇審査委員特別賞

・「下水道公開講座」下水道事業啓蒙活動への参加（管路情報活用有限責任事業組合）

◇会員投票特別賞

・水の歴史資料館（名古屋市上下水道局）

○「でらうま BISTRO 下水道」開催します！（BISTRO 下水道推進戦略チーム）

BISTRO 下水道を PR するため、下水道展'16 名古屋にあわせて全国各地の BISTRO 下水道食材を使った料理を提供する特別企画「でらうま BISTRO 下水道」を開催します。

この企画は、一般の飲食店にご協力いただき、通常営業の一環として、「BITRO 下水道食材」を使った特別メニューも販売提供するものです。飲食店の場所は、第 53 回下水道研究発表会が開催される「ウインクあいち」地下 1 階です。

注目は、なんとといっても、下水道資源を活用して育った食材を使う「なごやめし」。天むす、鳥みそ串かつ、どて煮の材料に BISTRO 下水道食材を使っています。そのほかにも複数メニューをご提供しますので、是非、皆さん、ご来店ください。お待ちしております。

【開催概要】

営業日：平成 28 年 7 月 26 日～7 月 28 日

営業時間：17 時～24 時（ラストオーダー 23 時 30 分）

場所：つくね屋本舗 名駅店 席数 100 席

（愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38 ウインクあいち地下 1 階）

BISTRO 下水道特別メニュー：

鳥みそ串かつ【100 本／日】、天むす（赤だし付）【50 皿（1 皿 2 貫）／日】

どて煮【20 皿（3~4 人前）／日】、長いもの短冊、おつな姫の枝豆、

いぶり大根漬けなど 各 50 食程度

※提供数は予定です。各日無くなり次第終了です。

○第 14 回 リン資源リサイクルシンポジウム

～ リン資源リサイクルに関する国内外の動向 ～ 開催概要（リン資源リサイクル推進協議会）

主催：リン資源リサイクル推進協議会

協賛：三井住友銀行、早稲田大学リンアトラス研究所、一般社団法人日本有機資源協会

実施日：平成 28 年 7 月 21 日（木）13:00～17:00（交流会 17:30～19:30）

場所：三井住友銀行本店ビル 3F 大ホール（東京都千代田区丸の内 1-1-2）

http://www.smbc.co.jp/aboutus/profile/base_list.html

参加費：シンポジウム 協議会会員・学生 — 無料

一般 — 4,000 円

意見交換・交流会 協議会会員・一般ともに 4,000 円、

学生 — 2,000 円

(参加費は、当日会場にて頂戴いたします。)

次 第 :

1. 開会挨拶 (13:00~13:05)

リン資源リサイクル推進協議会 会長

大阪大学 名誉教授・早稲田大学 総合研究機構 リンアトラス研究所 客員教授

大竹 久夫

2. 平成 28 年度 リン資源リサイクル推進功績者表彰 (13:05~13:10)

3. 来賓挨拶 (13:10~13:25) <予定>

農林水産省 生産局 農産部 技術普及課 生産資材対策室

経済産業省 製造産業局 化学課

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

環境省 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

4. 講演・事例発表 (13:25~15:25、30分/題)

(1) 「ISO/TC275/WG7 Sludge recovery, recycling, treatment and disposal に関する情報」

日立造船株式会社 環境事業本部 開発センター WS 水処理プロジェクトグループ長

大地 佐智子 氏

(2) 「リン等の下水道資源を有効利用する豊川バイオマスパーク構想の紹介」

豊橋技術科学大学 グローバル工学教育推進機構 国際交流センター

センター長・教授 大門 裕之 氏

(3) 「下水汚泥焼却灰からのリン酸回収技術の開発」

日本大学 理工学部 物質応用化学科 教授 遠山 岳史 氏

(4) 「堆肥中のリン酸の肥料効果」(仮題)

東北大学大学院 農学研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター

栽培植物環境科学分野 准教授 伊藤 豊彰 氏

— 休憩と意見交換・交流 20 分間 (15:25~15:45) —

5. 総合討論 (15:45~16:45) 「多様なリン資源リサイクルの事業化に向けて」

コーディネーター: リン資源リサイクル推進協議会 会長 大竹 久夫

パネラー: 各講演者

6. 閉会挨拶 (16:45~16:50) リン資源リサイクル推進協議会 副会長

日本肥料アンモニア協会 理事 事務局長 成田 義貞

7. 意見交換・交流会 (17:30~19:30)

会場: バリッシモ 大手町店 (東京都千代田区丸の内 1-3-2 三井住友銀行ビル東館 B1F)

=====

【参考情報】

◆被災し再稼働の浄化センター 最大 20cm 沈下 <7/15 河北新報>

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201607/20160715_13043.html

◆Gスランバー舞台「れんが下水道」公開へ <7/13 河北新報>

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201607/20160713_13024.html

◆首相、経済対策指示へ…民間投資を促進〈7/12 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/20160712-0YT1T50064.html>

◆10兆円超 首相指示、建設国債追加へ〈7/12 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/articles/20160713/k00/00m/020/115000c>

◆災害時の水不足対策に井戸マップ製作へ 小平の市民グループ〈7/8 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201607/CK2016070802000157.html>

◆遺伝子組み換え大腸菌下水廃棄 男性講師を6カ月の停職処分〈7/7 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/160707/wst1607070062-n1.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>
